

てんとうむし

特集

携帯電話を考える



野外体験教室ビレッジ若あゆの農園に咲く菜の花

あたたかい春が、すぐそこまで

目次

- 卷頭言「子どもの心に入り込んで」 2 ページ
- シリーズ 相談指導教室4 「大地」 3 ページ
- 特集 「携帯電話を考える」
 - ・ 携帯電話には危険がひそんでいます！ 4 ページ
 - ・ まずは親子で話し合いを！ そしてルールを決めましょう！ 6 ページ
- 「ほっとひとこま」「読者の声」 8 ページ

「子どもの心に入り込んで」

何年ぐらい前からでしょうか、若者達の間で「KY」という言葉が流行りはじめました。今では、この「空気が読めない」という意味の造語は、少なからず若者以外にも知れ渡っているように感じられます。

「空気を読む」という言葉は、いろいろな意味や場面で使われていると思いますが、良い意味だけで解釈しますと、「周りの状況を察してあげる」「他人に対して気配りをする」といった、温かい人間的な優しさを含んだ言葉だとも言えます。言い換えば「空気を読める」ということは、その人の人間性の技術、心の技術とも言えるかも知れません。

かなり以前、私が新米教師として小学校に勤務していた頃のことです。不勉強や粗雑な性格が祟ってか、どうも子ども達への指導が上手くいかず、毎日のように先輩の先生方に相談もし、指導も受けておりました。そんな中で、或る大ベテランの先生が言われた言葉が今でも忘れられません。忘れられないと言うより、私が教師として身に付けなければならない命題として、今尚心がけている言葉です。

その先生は、「教師が子どもの心の中に入るためには、どんな時にも教師然としていてはダメです。或る時は父親のように、或る時は母親のように、また、友達であったり、お兄さんであったりすることが必要です。そして、これだけは絶対という時には、敢えて王様であるべきです。」というような内容のことを話されました。

考えてみると、子ども達には学校生活の中だけでもいろいろな活動の場がありますし、更にその場それぞれに場面があります。その時々の子ど

も達の心の情況を悟りながら接する時に、自然と心の中に入つて行け、本心や本音が分かり合えるのだろうと思います。

子どもが落ち込んでしおげている時は優しいお母さんのように接し、決断したり勇気を与えたいた時は逞しい父親のように、楽しく遊んでいる時などは友達のようであっても良いと思います。そして、命の大切さや絶対的な決まりを守らせる時には王様のようでありたいものです。

とは言いましても「言うは易し」で、実際には非常に難しいことで簡単に身に付くものではありません。しかし、そのことを意識して子ども達と接するだけでも、少しは自分が高まるのではないかと考えております。

「空気を読む」ということと、「昔、先輩から教わった話」を述べましたが、多分に自分よがりの解釈であると思います。しかし、専門的なことはよく分かりませんが、この二つの延長上に心理家が言うカウンセリングマインドがあるような気もしております。

現在学校では、新学習指導要領の完全実施に向けて取り組んでおりますが、その中で授業時数増にも苦慮しているところです。子ども達と自由に遊んだり話し合ったりする時間を生んでいくのも、今まで以上に難しいかも知れません。だからこそ前述のようなことが、より求められてくるのではないでしょうか。今後も、青少年相談センターの啓発的ご指導を、大いに期待申し上げます。

相模原市公立小学校校長会

会長 山田理以

シリーズ 相談指導教室 4

大地

(相模原市立大野北中学校 敷地内)



大地の目標

- ◎ 「大地」にしっかりと根をはって、人・もの・こととの関わりを大切にします。
- ◎ 居場所のある教室、意味のある学習・活動を大切にします。
- ◎ 力を合わせ、気持ちを合わせ、優しい心を育てます。



(生徒の手による看板)

「学校に行きたい」「学校で友達と一緒に学びたい」と思いながらも、なぜか、体も心もすくんでしまう…。登校しようと思っていても、登校できないことに悩み、苦しんでいる…。相談指導教室「大地」は、このような気持ちでいる仲間が集い、小集団で活動したり、学習したりする場です。

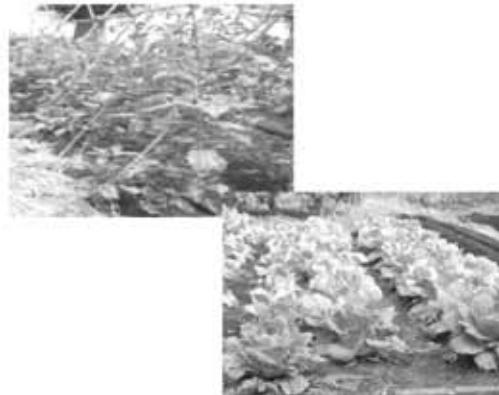
日程と時間割

	時間	月	火	水	木	金
開室	9:00 ~9:30					
		通室時間				
朝の会	9:30 ~9:45					
		健康観察・今週&今日の日程確認				
読書	9:45 ~9:55	読書	読書	読書	読書	読書
1	9:55~ 10:45	国語	英語	国語	数学	英語
2	10:55~ 11:45	英語	国語	数学	国語	Mタイム
	11:45~ 12:45					
		昼食タイム				
3	12:45~ 13:35		大地 タイム	数学	体育	個別 学習
4	13:45~ 14:35		大地 タイム		個別 学習	音楽
清掃	11:50~ 12:00			13:40~ 13:50		14:40~ 14:50
帰りの会	12:05~ 12:15		14:40~ 14:50	13:55~ 14:05	14:40~ 14:50	14:55~ 15:05
閉室	12:25	15:00	14:15	15:00	15:15	

*教科や曜日によって、1時間を学年ごとの2つのグループに分けて学習を行うことがあります。

*大地タイムには、農業体験や職業体験などの活動や、理科・社会・美術等の教科の学習をします。

*Mタイムは、人間関係づくりのプログラムを実施する時間です。



(敷地内の畑で育てている野菜)



(朝の輝が差し込む教室)

子どもたちの携帯電話の所有率

小・中	小学校		中学校			
	学年	4年	6年	1年	2年	3年
男子	25.8%	30.9%	65.3%	63.8%	80.0%	
女子	33.8%	53.9%	78.5%	90.0%	88.7%	
合計	29.8%	42.5%	71.5%	76.0%	84.3%	

小学校6年生で42.5%、中学校1年生で71.5%、3年生では、84.3%が携帯電話を所有しています。

平成20年1月 神奈川県教育委員会実施

「相模原市携帯電話及びパソコンにおけるインターネット利用状況等に関するアンケート調査」より

えーつ!〇〇万円!?

どうしてこんなすごい利用になってしまふの?



楽曲のダウンロードや

違法なネットオークション、架空メール等で高額な請求をされるこ

興味本位のアクセスはしない!

携帯電話には 危険

「いつでも連絡することができる」「居場所を知ることが可能」と便利な携帯電話ですが、使い方によっては危険なことがあります。

こんなことが起

「1回ぐらいなら」と、出会い系サイトにアクセスしたら、すごく優しい感じのメールが何度も来て、大丈夫かなあと思って、会ってみたらこんなメールが…
「この前撮つたお前の顔写真と個人情報をネットにばらまいてやる。嫌なら金を持って会いに来い。」



個人情報を利用され、
おどされることに。相談できずに
繰り返し会うことで、
さらに被害が…。

絶対にアクセスしない!

仲のいい友だちの友だち
がながつたけど相手は大したことない
だけなら平気だよ」とアメみ

話している相手の
わからない携帯電話では、思っていた相手は薬物に誘う
感わされ、薬物を手にする

利用類

「このメールを5人に送らないと
悪い人があなたのところに…」
こんなメール送りたくないけど
悪いし…。



わたしの名前が書いてあって、「みんなで無視しよう」とか「あいつはキモイ」とか書いてあった。やめて欲しいのに…。



いわゆるチェーンメール。
事実無根のメールを複数の人に送るように
というメールが送られてきて、
被害が拡大…。

携帯電話等からネット上の
掲示板やブログ^(※1)、プロフ^(※2)に
特定の子どもに関する誹謗・中傷が

自分がされて嫌なことは絶対にしない! 書き込まれる。

がひそんでいます!

とができる」「簡単にインターネットが使える」など、
っては**危険**にさらされることに…。



きて い ま す !

友人と携帯で話をしていたら、気づく大人で、「みんなやってるから」「1回メみたいな薬をすすめられて…。



手の顔が
は、友だちの友だちと
誘う大人。甘い言葉に
にすることに…。

安易な気持ちがとても危険！

携帯電話って本当に必要?

今年になって文部科学省は、子供の携帯電話について、小中学校への持ち込みや校内での使用を原則として禁止するべきという指針を出しています。



※1. 個人やグループで日記のように情報を更新しながら発信しているサイト。

※2. 「プロフィール」の略で、用意された質問に答えることで、簡単に自己紹介ページが作れるサイト。

まずは親子で「話し合い」を!



携帯電話の機能が、どこまで子どもに必要か



子どもを携帯電話の危険性から守るためにには、持たせないこともひとつの選択です。

また携帯電話を持たせる場合には「年齢」ではなく、「必要性」を考えることが必要です。

携帯電話における様々なトラブルは、インターネット機能（出会い系サイト・掲示板・学校裏サイト・プロフ等）が大きな要因となっています。子どもが正しく携帯電話を使えるまでは、インターネット機能をつけずに、「通話とショートメール」だけに設定することもできます。

また、インターネット機能をつけるにしても「フィルタリングの設定」をすることは、有害サイトの閲覧を制限するための最低限の防衛手段です。

携帯電話各社は、無料でフィルタリングサービスを提供しています。詳細については、契約されている携帯電話各社にお問い合わせ下さい。

学校では『情報安全モラル教育』をすすめています

情報安全モラルとは？

情報モラル

…コンピュータがない時代からあった権利などで、コンピュータが出てきてから格段にその重要性が高められたものを含めたものです。

「人権とプライバシー」・「個人情報」・「著作権・肖像権」



情報マナーとルール

…コンピュータが使われはじめて、問題になってきている内容で、個人の判断力が特に必要なったものをまとめたものです。

「ネチケット」・「不正アクセス」・「健康被害」



情報セキュリティ

…コンピュータのネットワーク化によって引き起こされた危険についてまとめたものです。

「コンピュータウィルス」・「不正アクセス」・「ネットワーク犯罪」

新学習指導要領の中で総則および道徳に「情報モラル教育」の実施が位置づけられました。

そして「ルール」を決めましょう!

使用についてのルール

- インターネット使用のルール（ネチケット）を守る。
- 料金の上限を決める。
- 利用する時間や時間帯を決める。
- 個人情報は絶対に教えない、書き込まない。
- 揭示板等に誹謗・中傷は書かない。
- 出会い系サイトは、「見ない・書き込まない・絶対会わない」を守る。
- サイトで知り合った人には会わない。



携帯電話を使用するうえで最も大切なことは、利用する子どもたち一人ひとりが、やつていいことと悪いことをしっかりと理解し、「悪いことはしない」という気持ちを持つことです。保護者は、「うちの子は大丈夫」と油断することなく、大切な家族が、「被害者」にも「加害者」にもならないようにするために、子どもにとって今大切なことを優先し、どのような使い方をしているかを把握することが大切です。決して、買い放し、与え放しにならないように親子で話し合いましょう。



■情報安全モラルハンドブック

情報安全モラル教育を進めるための年間計画例や実践的な指導案等のノウハウが詰まった一冊です。平成19年に各学校の先生方に配布されています。



■さがみはらスタディメイト

相模原の小学生、中学生のためのポータルサイトです。学習教材やリンク集の他、インターネット利用のマナー（ネチケット）を学ぶことができます。

■学校のコンピュータ室で使える「情報安全モラル」に関するソフト

「ジャストスマイル3@フレンド」

ジャストスマイル3@フレンドには、メールの疑似体験ができ、相手が嫌な気持ちになるような言葉が入っていると注意までしてくれる「つたわるねっと」が導入されています。「Netモラル web版」

情報安全モラルの定着を目指したソフトです。コンピュータ教室だけでなく普通教室でも授業ができるようにビデオ、提示用教材、掲示物も用意されています。

■チェーンメールの捨て場所

不特定多数に配られたチェーンメールで困った場合は、次のアドレスに捨てるすることができます。

end1@sagamihara-kng.ed.jp ~ end10@sagamihara-kng.ed.jp

※上記、資料等についてのお問い合わせは総合学習センター 学習情報班まで



「ほっとひとこま」

～小学校や中学校の相談室より～

学校の相談室には、こんなほっとする時間が流れています
相談員さんがそっと教えてくれました

その46



部活動も終了し、全員下校した静かな校舎の中の相談室で、一日を振り返る。今日かかわった生徒たちの顔が次々に浮かんでくる。今日も担当教諭との朝の打ち合わせ後は早速、教室に。名前のあがった生徒を気にかけながら各教室を授業参観。授業中にもかかわらず廊下の階段に座り込んでいる生徒、話しかけ落ち着くのを待ち、教室まで見送る。不登校から復帰した生徒と眼があう。朝から教室で授業を受けている。(偉いね、放課後、相談室でまってるよ)と眼で合図を送る。友人関係のトラブルを抱えている生徒、休み時間、そばで話し相手になる。(もう大丈夫、乗り越えられそうだね)一人ひとりの顔を思い浮かべながら、相談室の鍵をかける。心をこめ、思いをこめた言葉が生徒に届きますように、そして、また来週は、もっと元気な笑顔と出会えますようにと願いながら。

(Y相談員)

相談室にいると廊下から「今日は相談室あいているよ。あとで行こうね。」という子どもたちの元気の良い声が聞こえてきます。中休みと昼休みは子どもたちがたくさん来てくれてとてもぎやかです。来てくれる子どもたちはグループで来る子や一人で来る子とさまざまです。一人で来る子は、初め緊張してなかなか中に入れませんが声をかけることで近づいてきてくれます。また常連の子どもたちが一人で来る子に「一緒に遊ぼうよ。」と声をかけてくれる場合が多くみられます。その一声がとても大切であることを子どもたちは理解していて、相談室ではみんなに声をかけて一緒に遊ぼうという気持ちを子どもたち一人ひとりが意識しているようです。ある6年生の男の子がある日、「相談室は学年とか関係なくてみんなで仲良くできるところだね。」と言ってくれました。相談室がひとつのみんなの居場所になっているように心がけていきたいと思います。

(H相談員)

ある日小学校に行くと、一年生のA君が手紙を渡しにきました。手紙には、「相談したいことがあります。昼休みに行きます。」と書かれていました。相談室にやって来たA君は下を向き元気がありません。「どうしたのかな。」という相談員の言葉にも下を向いたまま。そこでそっと紙を差し出すと『友だちに嫌われています。』と書き、ぽつりぽつりと話し始めました。話をじっくり聞くと、友だちがなかなかできないので悩んでいるということでした。A君は友だちができないことを「友だちに嫌われています」という言葉で表現していたのでした。子どもたちと関わっているとA君のような例に出会うことがあります。その都度子どもたちの話をじっくり聞くことの大切さを実感せられます。数週間後、満面の笑みを浮かべたA君がお友だちを連れて相談室にやってきました。その時のA君はなんだか誇らしげでした。

(S相談員)

「懸命に 賢明なれば 剣が立つ」 今日も休み時間になると、相談室に何人かの子ども達が来ます。その中で何人か、眉間にしわをよせて攻撃的な言動をする子がいます。危険なことにはストップをかけることはありますが、だいたいは言動を見ています。しばらくたつと眉間に剣が消えて穏やかな顔つきになります。話を聞いてみると、「授業が大変だった」「友人のトラブルがあった」「何かイライラした」などと話してくれます。私は教わりました。生きることが難しい時代、子ども達は子ども達なりに一生懸命に賢くなろうと努力しているのだと。そして一生懸命になればなるほど、眉間にしわをよせてしまう。さらに一生懸命にやった、その分だけ、子ども達なりに面白いことを試行錯誤して探しているものだと思いました。攻撃的言動は好まれることではありませんが、彼らなりの試行錯誤の一つの表れかもしれません。休み時間が終わり、一人になった私は、見ているようで見ていない、そんな自分の未熟さを改めて感じました。その時、ふと幕末志士の言葉を思い出しました。

「面白き ことなき世を 面白く」

(F相談員)

読者の声

ある日、相談センターの朝の打合わせで、前月に比べて中学校の不登校の生徒数が減ったことが報告されました。その時、何とも言えない感慨を覚えました。近年、新聞や雑誌などでは、不登校の児童・生徒が増えていることが当たり前のような記事をよく見る中で、今、お世話になっている身近なところで、学校やそれに関係する人たちの着実で細やかな相談や指導を感じていたからです。一人の子どもが、自分の行くべき道を見失った時に、エネルギーを高め、もう一度自分なりの一歩を踏み出すためには、たくさんの人の関わりや励ましがあることを思うと、「減」という一つの文字の裏から、多く関わりのドラマが見えてくるようでした。ここ、相談指導教室に通って来ていた子ども達が、学校に戻り始める時も、担任の先生のタイムリーな関わりを感じることがたくさんあります。相談指導教室の一員として、今後も細やかな関わりを大切にしていきたいと思っています。

(相模原市教育委員会 嘴託職員 育戸 優子)

ヤングテレホン相談



一人で悩まず まず相談！

小・中・高校生や青少年の抱える悩み、心配事などを本人や保護者から直接電話でお受けし、専門の相談員が一緒に考えます。(匿名での相談もお受けします。)

専用電話 042-755-2552 Eメール相談(24時間受付) yantele@city.sagamihara.kanagawa.jp

受付時間 月曜日～金曜日 午前8:30～午後9:00 (土・日・祝日は留守番電話)